

## 資料 1

### 令和5年度効果検証対象事業の選定

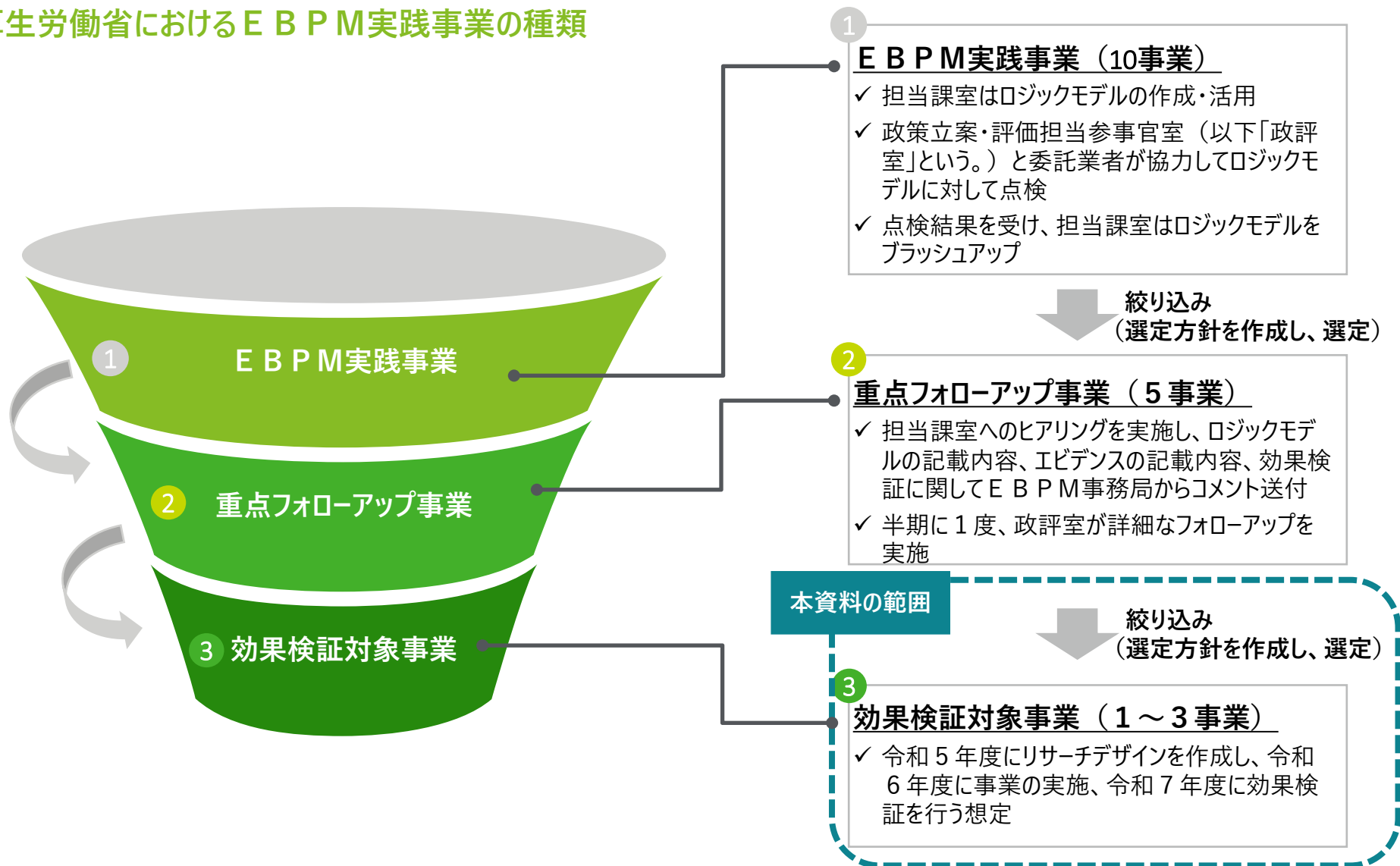
2024年2月8日

# 目次

1. 厚生労働省におけるE B P M実践事業の種類	p.3
2. 令和5年度効果検証対象事業の位置付け	p.4
3. 令和5年度効果検証対象事業の選定方針における観点	p.5
4. 各観点における具体的な選定基準	p.6
5. 令和5年度効果検証対象事業候補の一覧	p.7

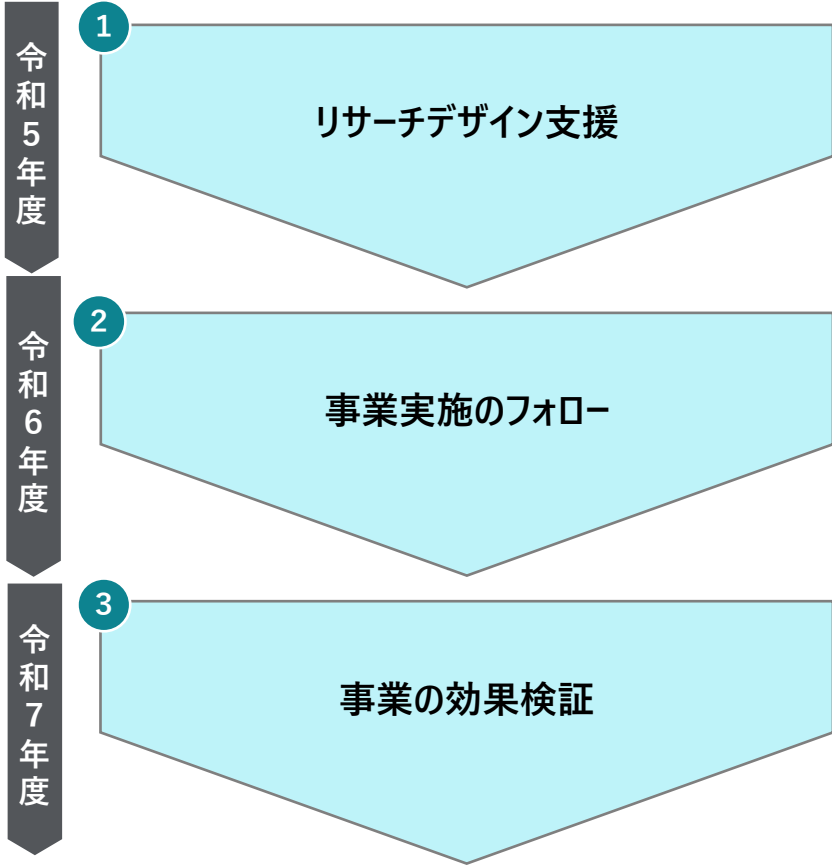
# 令和5年度効果検証対象事業については、選定方針を作成し、重点フォローアップ事業から対象事業を選定する

## 厚生労働省におけるEBPM実践事業の種類



令和 5 年度効果検証対象事業は、令和 5 年度にリサーチデザイン支援、令和 6 年度に事業実施のフォロー、令和 7 年度に効果検証を実施する

令和 5 年度効果検証対象事業の位置付け



※令和 6 年度中に効果検証が可能な事業については、令和 6 年度に効果検証を実施し、令和 7 年度に事業改善方法の検討や結果の取りまとめを行うことも可能

項目		実施内容
1	リサーチデザイン支援	■ 担当部局へのヒアリング・協議 ■ データ取得方法の設計・支援 ■ 分析手法の整理・提案 等
2	事業実施のフォロー	■ 事業実施中の相談対応 ■ データ取得方法の各種サポート 等
3	事業の効果検証	■ 効果検証の実施 ■ 事業の改善方法の検討 ■ 結果取りまとめ 等

効果検証対象事業は、① 検証の費用対効果の観点、② 実行可能性の観点、③ 事業バランスの観点から総合的に評価し、重点フォローアップ事業の中から選定することを選定方針とする

令和5年度効果検証対象事業の選定方針における観点

### 検証の費用対効果の観点

今後の業務負担や事業の継続性等に照らして、検証の費用対効果が相対的に高いか？



検証の  
費用対効果の観点

### 実行可能性の観点

効果検証の実施や検証結果の公開が可能か？



実行可能性の  
観点

事業バランスの観点

### 事業バランスの観点

政策分野や事業類型のバランスが取れているか？



# 各観点における具体的な選定基準は以下のとおり

## 各観点における具体的な選定基準



検証の費用対効果の観点	実行可能性の観点	事業バランスの観点
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 分析結果が事業の改善改良に寄与するか。</li><li>■ 省内の他領域にも参照される事業特性を有しているか。</li><li>■ 今後の業務負担や事業の継続性はどうか。（会計課意見）</li><li>■ 事業内容が教科書的事例であったり、データの活用や政策の重要性について特筆すべきものがあるか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 公的統計や事業で取得する情報など、分析に必要なデータが利用可能か。</li><li>■ エビデンスレベルの高い分析手法を活用できるか。</li><li>■ 分析に利用するデータとして複数年分を取得可能か。</li><li>■ データの共有や分析結果の公開に大きな障壁がないか。</li><li>■ 令和 6 年度又は令和 7 年度中に有益な分析が可能か。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 政策分野のバランス（労働領域と厚生領域のバランスなど）が取れているか。</li><li>■ 新規事業やモデル事業などの事業類型のバランスが取れているか。</li></ul>

# 令和５年度の効果検証対象事業候補は、重点フォローアップ事業の５事業である

## 令和５年度効果検証対象事業候補の一覧

部局	担当課室	事業名
医政局	地域医療計画課	重症患者診療体制整備事業
労働基準局	監督課	働き方改革の実現に向けた労働時間の上限規制の定着による長時間労働の抑制等のための取組
職業安定局	労働移動支援室	副業・兼業に関する情報提供モデル事業
雇用環境・均等局	勤労者生活課労働者協同組合業務室	労働者協同組合法の円滑な施行
老健局	認知症施策・地域介護推進課	地域包括支援センター等におけるICT等導入支援事業